

「学校サポート教室」におけるデジタル教科書を活用した学習支援について 【江戸川区教育支援センターの取組】

不登校児童・生徒の状況

本区には6箇所の教育支援センター「学校サポート教室」があり、令和6年3月現在、小学生54名、中学生180名が在籍している。児童・生徒は一人一人のタイミングで登室し、職員を交えてにぎやかに雑談をする児童・生徒もいれば、一人の時間を大切にして自習する児童・生徒もいて、各自が自分で過ごし方を選択している。

具体的な支援

教育支援センター6ヶ所に在籍する児童・生徒に小学校3年から中学校3年までの、教材付きデジタル教科書を配布した。在籍の児童・生徒87名（小10名、中77名）が活用した。

簡単にデジタル教科書にアクセスできるように手順を説明したプリントを作成・配布するとともに、教育支援センター職員がデモンストレーション等をして、通室児童・生徒の使用を促した。

また、教育支援センター職員が授業を行う際に、教科書を準備できていない児童・生徒に対しても、スムーズに授業を行うことができた。自習のサポートにおいても、デジタル教科書の使用を促し、学びの選択肢を広げることができた。



成果

児童・生徒が簡単にアクセスできるようにプリントを作成・配布・掲示することによって、誰もが簡単にデジタル教科書を活用することができ、使用頻度の向上につながった。

課題

様々なデジタル学習教材がある中、児童・生徒がデジタル教科書を進んで使用する動機づけが十分ではない。